

※入場無料

いま 憲法改正と 民主主義を 考える

◆ 挨拶と問題提起：市川正人（本会代表・立命館大学教授）

◆ 報告：

石川健治（東京大学教授）

「憲法に自衛隊を明記するとはどういうことか？」

右崎正博（獨協大学名誉教授）

「公文書の改ざん・隠ぺいと民主主義」

◆ パネルディスカッション

石川健治 + 右崎正博

● 司会 成澤孝人（信州大学教授）・巻美矢紀（上智大学教授）

日時 **2018年6月2日(土)**

午後1時30分～5時

場所 **専修大学神田キャンパス1号館302教室**

- ・水道橋駅(JR)西口より徒歩7分
- ・九段下駅(東西線・都営新宿線・半蔵門線)出口5より徒歩3分
- ・神保町駅(都営三田線・都営新宿線・半蔵門線)出口A2より徒歩3分

いま憲法を改正することが本当に必要なのでしょうか。憲法に自衛隊を明記しても、「何も変わらない」のでしょうか。

公文書の改ざん・隠ぺいが行われ、民主主義が機能する前提が壊かれています。このような民主主義のありようは、憲法改正にふさわしいのでしょうか。

あらためて憲法改正と民主主義について、とことんを考えましょう。

主催

全国憲法研究会

憲法問題特別委員会

連絡窓口：國學院大学法学部植村研究室
fax:03-5466-0757